



この秋 国宝・京都へ！
国宝「梅蒔絵手箱」

京都国立博物館 開館120周年 特別展
「国宝」展に出品

会期 10月3日(火)～11月26日(日)

・写真 国宝「梅蒔絵手箱」



5月～7月 平成の御神宝・東京へ！
「梅蒔絵手箱」復元模造品

サントリー美術館
「六本木開館10周年 記念展 神の宝の玉手箱」に出品

会期 5月31日(水)～7月17日(月・祝)

・写真 「梅蒔絵手箱」復元模造品

平成29年度

三嶋大社 リニューアル 20周年

関連
展示

3.28 火

▶ 9.24 日

宝物館



・写真 室瀬和美作 蒔絵螺鈿硯箱「椿」 2005年

宝物館改築
20周年企画Ⅰ

漆芸～伝統と革新の美～

平成の御神宝を生み出した至高の技！
国宝「梅蒔絵手箱」復元模造品制作者作品展

期間 5月23日(火)～7月30日(日)

講演会開催！

詳細は
裏面へ

講師：室瀬和美氏 漆芸家

重要無形文化財「蒔絵」保持者(人間国宝)・目白漆芸文化財研究所代表

7月2日(日) 聴講無料 | 定員80名 会場：三嶋大社社務所

電話にて事前申し込み 055-975-0566 (宝物館)

宝物館改築20周年企画Ⅱ

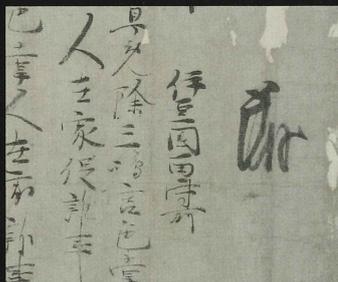
徳川家康側室お万の方奉納

三十六歌仙縫取絵額～静岡県有形文化財指定記念

前期 3月28日(火)～6月25日(日) 後期 6月26日(月)～9月24日(日)



・写真 「三十六歌仙縫取絵額」
左1面 部分：柿本人麻呂



・写真 重要文化財「源頼朝下文」部分

宝物館改築20周年企画Ⅲ

三嶋大社の鎌倉時代文書～「梅蒔絵手箱」奉納の時代

前期 3月28日(火)～9月24日(日)

三嶋大社宝物館

〒411-0035 静岡県三島市大宮町2-1-5 電話・FAX 055-975-0566

アクセス、開館時間ほか詳細は裏面へ

宝物館が改築20年を迎えます

今から87年前の昭和5年、三嶋大社宝物館は開館しました。以後60余年、伝来の宝物を展示し、多くの参拝者をお迎えしました。しかし老朽化も進み、また文化財の保存という面では不十分な施設であったため、新たな宝物館へのリニューアルを計画しました。旧宝物館は平成7年9月に閉館し、約2年半の歳月をかけた改築事業のもと、平成10年4月、新宝物館が開館します。収蔵環境・展示環境が格段に向上した宝物館では、今後も宝物・文化財の恒久保存と展示公開という両面を両立させるべく、努力してまいります。

国宝「梅蒔絵手箱」と復元模造制作事業

北条政子の奉納品として知られる国宝「梅蒔絵手箱」。鎌倉時代の漆工芸品の傑作とされるこの手箱は、蒔絵の基本技法が完成した時期を示す作品であり、また内容品がほぼ完品のまま残存したことから、風俗資料としても重視されています。

伝来の重宝として大切に保存されてきた本手箱は、現在、東京国立博物館にて保管(寄託)をしています。また文化財保護の観点から展示期間を限っているため、新宝物館開館にあたり、常設展示可能な復元模造品の制作を企画しました。復元品制作では、現在の古色たる状態を再現するのではなく、奉納当時の姿を、材料・技法を含め再現することに努め、約4年に亘る制作事業の結果、北条政子が奉納した当時の姿が甦りました。

国宝は京都へ！復元品は東京へ！

リニューアルオープン20年を迎える今年、国宝「梅蒔絵手箱」を京都国立博物館の国宝展(10月3日から)に出品いたします。平成の御神宝たる復元品は東京のサントリー美術館にて展示公開(5月31日から)をいたします。どちらもより多くの方にご観覧いただけることを願っています。なお展示の期間は各館にお問い合わせ下さい。

宝物館改築 20周年企画Ⅰ

漆芸～伝統と革新の美～

平成の御神宝を生み出した至高の技！
国宝「梅蒔絵手箱」復元模造品制作者作品展

期間 5月23日(火)～7月30日(日)



※「梅蒔絵手箱」の復元模造品制作から20年。制作作業に携わった作家たちのその後の作品を展示します。

出品作家 (五十音順)

大西 勲 | 小椋範彦 | 長内洋三
三川北良造 | 田口義明 | 松本達弥
室瀬和美

・写真 松本達弥作 彫漆緑花文箱 2006年

宝物館改築20周年企画Ⅱ

徳川家康側室お万の方奉納

三十六歌仙縫取絵額～静岡県有形文化財指定記念

期間 前期 3月28日(火)～6月25日(日)

後期 6月26日(月)～9月24日(日)



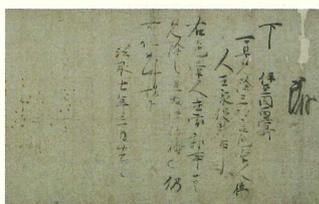
・写真：三十六歌仙縫取絵額 左1面

※県指定の文化財となったことを記念し、徳川家康側室お万の方奉納「三十六歌仙縫取絵額」が、平成27年3月13日付けで、静岡県の有形文化財に指定されました。指定後、まとめでの展示は今回が初めてとなります。全12面(歌仙36名分)を前・後期にわけ展示します。

宝物館改築20周年企画Ⅲ

三嶋大社の鎌倉時代文書～「梅蒔絵手箱」奉納の時代

期間 3月28日(火)～9月24日(日)



・写真：重要文化財「源頼朝下文」

※三嶋大社所蔵の鎌倉時代の古文書の特集。「梅蒔絵手箱」奉納の時代、三嶋大社を取り巻く社会情勢が垣間見えます。

企画Ⅰ関連 講演会開催

講師：室瀬和美氏 漆芸家

重要無形文化財「蒔絵」保持者(人間国宝)・目白漆芸文化財研究所代表

7月2日(日) 聴講無料 | 定員80名 会場：三嶋大社社務所

受付	講演	講演後
13:30～	14:00～15:15	宝物館見学 15:25～16:00

要事前申込み ※定員になり次第締め切らせていただきます。

- ① 電話にて 055-975-0566(宝物館)
- ② 直接宝物館にて 宝物館受付にお申し出下さい

国宝の復元作業は、原品の徹底的な調査・研究から始まりました。模造制作の重要さは、こうした点にも見出せます。講演では4年にも及んだ、貴重な国宝復元の過程をお話させていただきます。

三嶋大社宝物館 〒411-0035 静岡県三島市大宮町2-1-5

電話 055-975-0566(宝物館直通)

開館時間 9:00～16:30

展示室休室 5月22日(月)・7月31日(月)・9月25日(月)

アクセス

JR三島駅南口から徒歩13分

伊豆箱根鉄道三島田町駅から徒歩7分

拝観料

一般	500円
高校大学生	400円
小学中学生	300円